



福岡市政だより

令和3(2021)年

2/15

No.1679

みんなで、今できることを ～地域の活動から～



13:11 2021/02/15

⚠ 感染拡大を抑えるため、引き続き基本的な感染症対策を徹底しましょう【5面に関連記事】

国や県、市からの正しい情報に基づき、状況に応じて適切に行動してください。

※本紙掲載の情報は1月27日時点のものです。催し等が中止になる場合がありますので、事前に各問い合わせ先にご確認ください。

市長からのメッセージ

地域のために 今できることを

地域の皆さんは、自分たちの住むまちのためにさまざまな活動を行っています。コロナ禍で活動が制限される中、オンラインツールの活用など、それぞれ工夫しながら、活動を継続しています。

安全に安心して暮らせるまちづくりのためには、日頃から住民同士の交流を継続することが大切です。直接の交流が難しくなっている今だからこそ、地域の新たな取り組みについて考えてみませんか。

市は、地域が企業やNPO等と共に、地域の未来を創る「共創」の取り組みを進めています。一緒に住みやすいまちづくりを進めていきます。

福岡市長 高島宗一郎



今号の主な内容

- <特集>みんなで、今できることを～地域の活動から～ **1-3**
 - アビスパ福岡 J1開幕(市民応援デー) **4**
 - 新型コロナウイルス 事業者向け支援策 **5**
 - 国民健康保険・後期高齢者医療制度 保険料の減免 **5**
 - 高齢者向け各種教室の受講生を募集 **7**
 - 情報BOX **8-14**
 - 区版 **15-16**
- ※中面折り込み せんきょかわら版

人口 **1,603,043人** (前月比116人増)
男=756,352人/女=846,691人

面積 **343.46km²**

ダムの貯水率 **59.24%**

(1月27日現在)
平年値61.08%

世帯数 **832,635世帯** (前月比261世帯増)
※上記は令和2年9月1日現在推計。人口と世帯数は、国勢調査の結果が発表され次第、更新します。

- 市役所代表電話 ☎711-4111
- 市政に関するご意見・要望・相談 広聴課 ☎711-4067 733-5580
- 福岡市政だよりの配布 毎日メディアサービス ☎0120-359-303

ありがとう 笑顔の花が さく言葉 (人権尊重週間入選標語 西都小学校6年 澤田 さわだ とらのすけ 虎之介 さんの作品)

みんなで、今どきやることを 地域の活動から



市内には151の校区・地区に自治協議会があり、公民館などを拠点に地域の実情に即した事業が行われています。コロナ禍で地域の活動が制限される中、「新しい生活様式」を取り入れた活動が始まっています。地域の自治の仕組みと二つの地域の取り組みを紹介します。

自治会は最も身近な 地域コミュニティ

一定の地域を単位として、住民自らが運営する組織を、自治会または町内会といいます。自治会は、登下校時の子どもや高齢者の見守り、道路や公園の清掃、防災訓練など、さまざまな活動を行っています。運動会や夏祭りなどのイベントも開催し、住民同士の交流を促進しています。こうした普段の活動が、災害時の助け合いにも生かされます。

自治協議会とは

自治協議会は、おおむね小学校区を単位として、校区内の自治会のほか、体育振興会、青少年育成連合会、自主防災組織などの各種団体で構成されています。

地域活動を支援します

市は、地域活動の知識や経験を持ち、自治会等に助言や指導を行う「地域づくりアドバイザー」の派遣や、住民同士の交流事業に助成を行う「地域デビュー応援事業」などを実施しています。支援内容の詳細は、市ホームページ（福岡市 地域支援施策）で検索できます。

ものもあります。

これらの活動にかかる経費は、住民の皆さんからの自治会費などで賄われています。

更新したりして情報を発信しています。市ホームページ（福岡市 自治協議会ホームページ）で検索できます。



子どもの見守り（博多区・美野島地区）



町内の斉清掃（城南区・堤丘地区）

また、夜道を照らす防犯灯は、自治会によって設置されている。

各自治協議会は、定期的に広報紙を発行したり、ブログ等を

お住まいの地域の自治会等に
関する問い合わせは、各区地域
支援課へ。

【問い合わせ先】各区地域支援課

区	電話	ファクス
東	645-1041	645-1042
博多	419-1047	434-0053
中央	718-1061	714-2141
南	559-5071	562-3824
城南	833-4063	822-2142
早良	833-4416	851-2680
西	895-7036	882-2137

自分たちのまちをもっと住みよく 地域の新しいチャレンジ

オンラインを活用して



城南区・別府校区
自治協議会会長
三角隆義さん(72)

別府校区自治協議会には30の町内会があり、約9000世帯が暮らしています。ファミリー層も多く、PTAや自治会の活動にも積極的に参加するなど、校区を担う次の世代が育っています。

コロナ禍でも、校区内の防犯パトロールだけは続けていま

多くの人の協力で実現



博多区・美野島自治協議会
防災委員会会長
桜田明夫さん(79)

博多駅に近い美野島地区は、転出入者が多い反面、昔から住む人も多く、人と人との結びつきが強い土地柄です。15の自治会があり、約7400世帯が暮らしています。

ここでは、例年300人ほどが参加して大規模な防災訓練を行っています。昨年は、参加者を



す。また、関係団体や各町内会の役員とは、直接集まる代わりに、コミュニケーションアプリ「LINE」を使って情報を共有しています。

さらに新たな試みとして、オンライン会議ツール「Zoom」



新年あいさつ会には、公民館とそれぞれの自宅に分かれて役員ら18人が参加しました

の使い方を学び、新年あいさつ会をオンラインで行いました。参加者からは、「最初はうまく操作できるか不安だったが、違和感なく進められた」「みんなの顔を見られてうれしかった」などの感想が聞かれ、好評でした。

オンラインツールなどを使いこなせるようになれば、災害時にも活用できるのではないかと考えています。まだまだ思うように活動できない時期だからこそ、勉強会など自分たちができるところを続けていきます。新しいものを取り入れながら、柔軟に対応していきたいと思えます。



第一薬科大学の大渡氏から学んだ検温法を実践する防災委員

修を行っています。

地域では、自治会以外にもさまざまな団体が活動しています。互いに連携することで、コロナ禍でも活動を続けていくことはできるのだと実感しました。

共創事例 子ども防災教室を開催

昨年7月に弥永西校区(南区)で、子ども防災教室が開かれました。同校区は那珂川に近く、浸水想定区域に当たります。校区の団体から、コロナ禍でも子どもたちに防災知識を身に付けさせたいと相談を受け、土木建設業者の集まりである「福岡市土木建設協会」(博多区中洲中島町)につながりました。

協会には、約100人以上の防災士が在籍しています。土木のプロの視点で、その地域の実情に即したアドバイスをしてくれます。

今回は、クイズや紙芝居を交えながら、段ボールベッドの制作を体験するなど、子どもが飽きずに学べるよう工夫しました。



段ボールも引越し業者からの提供を受けました。これも共創の一つです

福岡市土木建設協会 城本哲也さん(49)の話

防災教室を開いて地域に貢献したいと、みんなで資格を取得しましたが、どこに声を掛けてよいか分かりませんでした。

共創コネクターが、私たちの特色を引き出して、地域とつないでくれました。今回で2回目の開催です。コロナ禍で実施できるか不安でしたが、校区の皆さんの徹底した感染症対策のおかげで、無事実施することができました。

「共創」の取り組み

地域の未来をみんなで作る

市は、地域が企業やNPOなどと一緒にまちづくりに取り組む「ふくおか共創プロジェクト」を推進しています。

NPO・ボランティア交流センター あすみん(中央区今泉一丁目) Ⅱ下記事参照Ⅱ内に共創コネクターを配置し、地域の課題解決や地域の活性化に向けた取り組みを支援しています。

共創コネクター！池田祐介さん(34)に話を聞きました。

多くの地域は、活動の担い手不足や参加者の固定化などの課題を抱えています。一方、地域に貢献したくても、どうしたらよいか分からないという企業やNPOもあります。



共創コネクターの池田さん(34)

私たちは、課題を抱える地域と、アイデアや熱意を持つさまざまな団体をつなぐ「仲人」のようなものです。まず最初に、それぞれの課題やニーズを整理することから始めます。

「共創」のポイントは、両者が互いにメリットを感じ、継続したいと思える関係を築くこと。無理をしすぎず、楽しみながら活動することが重要です。

昨年は、新型コロナウイルスの影響で進行中の事業が中断す



同プロジェクトのロゴマーク

るなど、これまで通りの支援ができない状況でした。それでも活動を続けたいという地域からの相談を受けて、企業につながることもできましたⅡ左記事参照。

地域も企業も動きづらい時期ですが、今を準備期間だと思っ、自分たちにできることは何かをじっくり考えてみるとよいと思います。アイデアを出し合えば、従来のやり方とは異なる方法で取り組むこともできます。

私たちが精一杯サポートします。まずは、共創デスク(☎070-7582-0497 月～土曜日午前10時～午後6時)にご相談ください。

皆さんの活動を応援します

市NPO・ボランティア交流センター あすみん

さまざまな人がボランティアとして地域を支えています。

あすみんでは、NPO・ボランティア活動に関する相談を随時受け付けています。情報収集や交流の場としてもご利用ください。

「ハジメのイッポ」

ボランティアを始めたい人のために、気軽に体験できるプログラムをそろえています。

公園の手入れや子ども食堂の手伝いなど、多数のプログラムの中から自分に合ったものを選ぶことができます。個人で参加することもでき、年齢や経験は問いません。

「ハローソーシャル」で仲間募集

ハローソーシャルは、ボランティアを必要とする人と、何かを始めたい人をつなぐ掲示板です。団体の取り組みや求める人物像のほか、始めたい人の自己PRも掲示されています。

団体利用登録でさまざまなサービスが利用できます

団体が利用登録をすると、センター内の貸室を無料で利用(要予約)できるほか、ホームページ(「あすみん」で検索)にイベント開催やボランティア募集の情報を掲載することができます。あすみんのメールマガジンやフェイスブック等にも団体の情報が掲載されます。



ハローソーシャルを活動始める際の参考に

このほか、あすみんでは、団体の運営や事業などに関する無料の「なんでも相談会」を、毎月第3水曜日に実施しています(要予約。オンライン相談も可)。

あすみんについての詳細は、ホームページに掲載しています。

■問い合わせ先/あすみん(中央区今泉一丁目 天神クラス4階) ☎724-4801 ☎724-4901 開午前10時～午後10時(日曜 祝休日は6時まで) 休第4水曜日

「あすみん夢ファンド」で、社会貢献しませんか

あすみん夢ファンドは、「市NPO活動支援基金」の愛称です。

皆さんからの寄付金を元に、NPO法人が行う、医療・福祉、子どもの健全育成などの分野の活動に対して助成を行っています。新型コロナウイルスの影響により、さまざまな困難に直面する人や団体を支援する活動にも役立てられています。

●自動販売機の利用や、入れ歯リサイクルでも寄付できます

あすみんなどに設置されている自動販売機=写真=を利用すると、売り上げの一部が、あすみん夢ファンドに寄付されます。



また、市役所や各区役所に設置している「不要入れ歯回収ボックス」に入れ歯を持ち込むと、リサイクル収益の一部が、あすみん夢ファンドの寄付金になります。

あすみん夢ファンドについての詳細は、市ホームページ(「あすみん夢ファンド」で検索)でご確認ください。

■問い合わせ先/市民公益活動推進課 ☎711-4283 ☎733-5768